

我が家の フラワー

21 ランタナ

ランタナはクラツツラ科ランタナ属の多年草で、品種によっては花の咲き始めと終わりで色が少しずつ変化することから、シチヘンゲの別名があります。夏から秋にかけて長く咲き続けるので、花壇や鉢植え向きの植物です。



【管理のポイント】

植え付け：4月～6月に日当たりの良い場所に植えつけます。光不足は花つきが悪くなったり、枝が伸びすぎたりします。

温度条件：温度が高ければいつでも新梢を伸ばして、その先端に花をつけます。冬季は花壇植えでは、ほとんど降霜、凍結しない地域では、落葉し小枝が枯れる程度で冬越しします。凍結する地域でも地上部は枯れますが、地際から地下の部分は生きのびます。鉢植えでは5度以下にならないように管理すれば、葉を落とさず冬越しできます。

剪定：高温時の生育期間中はいつでも適宜刈り込んでかまいません。しかし、冬季地上部が枯れる地域では、落葉後地際近くまで刈り込みます。

増やし方：5月～7月に新梢を10cm程度切り、1～2時間水揚げをしてから挿し芽します。約1ヶ月で発根し、鉢上げができる状態になります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育					成長期		花期					
植付					植替							
施肥				月に2～3回								
日照	日当(室内)				日向							
水やり	少なめに			土の表面が乾いたら								

ガーデニング

県園芸総合センター

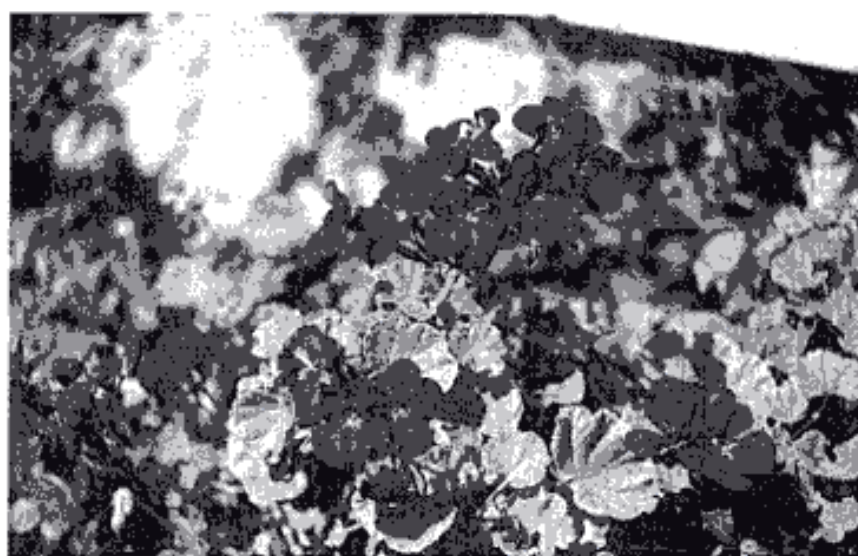
森田 知子



22 ゼラニウム

ゼラニウムはフウロソウ科ペラルゴニウム属の多年草です。一般にゼラニウムと呼ばれているものは、ゾナーレ種から改良された園芸品種群で四季咲き性。ペラルゴニウムの名で流通しているものは一季咲き性です。この他、アイビーゼラニウム、香料用のニオイゼラニウムなどの品種群があります。

原産地は日照に恵まれた雨の少ない南アフリカですから、湿気の多い日本では、プランターやつり鉢で楽しむほうが花つきも良くなります。



【管理のポイント】

- 置き場所：**日当たりが良く、乾燥した場所を好みます。寒さには比較的強く、冬季は霜のおそれなどがなければ、できるだけ戸外の直射日光のよく当たる場所に置きます。
- 水やり：**鉢土の表面が完全に乾いてから、与えるようにします。
- 肥料：**生長期の4～6月、9～10月に緩効性肥料を月に一回施します。液体肥料を使う場合は千倍に薄めたものを週に1回、水やりがわりに与えます。
- 切り戻し：**伸びすぎた茎は適宜切りつめて株を仕立て直します。ただし、切り詰めてよいのは、茎の下部にわき芽が伸び出している場合に限ります。必ずわき芽の出ている節の上で切り戻してください。
- 増やし方：**5～6月か9月に葉を3～4枚つけて切り、切り口を1日日陰で乾かしてから挿し芽します。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育状態	冬越し			開花								冬越し
置き場/日光	室内			日当たり								室内
水やり	3～4日に1回			ふつう								
肥料				施肥期								
作業	植え替え			さし木				さし木、植え替え				